

## パブリックコメント一覧表

(意見提出者7人)

分類	意見の概要	
全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の感想として第3次総合計画の焼き直しの感じがする。総花的な目標の羅列になっていて締りが無い。</li> <li>・今後は団塊の世代の退職や年収の減少で税収も少なくなり、限られた予算でいかに目標を達成するかが肝要である。</li> <li>・市民もこのあたりを心得て、やたらに請願や補助金申請をせずに市民全体に有意義なものに限定する必要がある。</li> </ul>	
基本構想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次総合計画では「市民参画」がキーワードであったが、第4次総合計画でも10年先のキーワードが必要ではないか。</li> </ul>	
基本構想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第2章の市民会議が描く芦屋の将来の姿」の「まちづくりの視点から見た将来像・10年後の姿」に「夏には樹木による温度低下があり」を追加してほしい。</li> </ul>	
基本構想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第2章の市民会議が描く芦屋の将来の姿」の「行政の視点から見た将来像・10年後の姿」の文章中の「行政のスリム化」の前に「市議会を含めた」を追加してほしい。</li> </ul>	
基本構想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャッチフレーズとして「国際IT先進都市芦屋」はいかがか。</li> <li>・神奈川県藤沢市の無料パソコン講座、市民ネット会議、市民カレッジのインターネット化など先端市の良いことは真似しよう。</li> </ul>	
基本構想	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの目標を大きく5つにし、それぞれに小項目3つぐらいにしてはどうか。</li> </ul>	
基本計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本構想には市民会議の素案がそれなり取り入れられているが、具体的な施策、事業、取組こそ積極的に取り入れるべきではないか。(58項目列挙)</li> </ul>	
基本計画	安全安心	防災 専門知識を持っている人を生かせる場作り
基本計画		防災 医療体制の確立
基本計画		交通 自転車専用道の整備必要箇所の把握と優先順位付け
基本計画		交通 放置自転車の監視
基本計画		交通 自転車走行帯の目立たせ
基本計画		生活環境 歩道の整備必要箇所の把握と優先順位付け
基本計画		生活環境 電柱の地中化
基本計画		保健医療福祉
基本計画	行政・社協・市民の協同 保健・医療・福祉・介護のワンストップサービス(市役所、福祉センター) 身近な場所の「よろず駆け込み相談所」、「ミニ福祉・保健センター」	
基本計画	拠点の整備・充実 小規模多機能施設	
基本計画	拠点の整備・充実 空き家活用での身近な福祉拠点づくり	
基本計画	拠点の整備・充実 市民による公募制の「病院サポート委員会」	
基本計画	ユニバーサルデザイン マイカーから徒歩・自転車・公共交通機関の利用に転換	
基本計画	ユニバーサルデザイン 車椅子でも芦屋川河川敷を散策できる整備	
基本計画	健康づくり 公園などへの健康遊具の整備	

分類	意見の概要	
基本計画	次世代育成	人格形成 国際性豊かに芸術・伝統文化・スポーツなどを通じての人格形成の保障
基本計画		人格形成 より安全に近しく自然と触れ合える環境と機会の保障
基本計画		子育て支援 学校・保育園の、「自校直営方式」による給食の保持
基本計画		子育て支援 子育て電話や直接訪問の充実
基本計画		子育て支援 身近な地域ごとの「自由な空間」づくり（ゆるい管理で既存の施設を活用）
基本計画		子育て支援 子育てヘルパー制度の整備
基本計画		子育て支援 子育て家庭に文化施設や集会所などを優先的使用を保障
基本計画		学校教育 学級定員の少人数化
基本計画		学校教育 本当の意味の「ゆとり」
基本計画		文化行政 市独自の音楽コンクール、絵画コンクール、アート・トリエンナーレなどの企画開催
基本計画		文化行政 公園指導員の常駐化
基本計画		文化行政 教育公園の整備
基本計画		文化行政 芸術・文化ホールの設置
基本計画		環境 南北交通の利便性・安全性の整備
基本計画		環境 大型看板の設置規制・景観保持
基本計画		環境 芦屋病院を高齢者にも便利に
基本計画		環境 通学路の安全確保
基本計画		環境 就業場所の確保のための企業誘致
基本計画		環境 安定的な収入確保で結婚率・出生率の向上
基本計画		市民活動
基本計画	市民活動 市民活動の「円卓会議」やプラットフォームの設定	
基本計画	まちづくり	文化 図書館蔵書の充実
基本計画		文化 洋館・お屋敷などの提供を受けてサロンの形成
基本計画		文化 市民活動支援センターの強化
基本計画		緑化 街路樹の落ち葉清掃や水遣りなどについて行政と市民の協力の仕組み整備
基本計画		防災・景観 芦屋川上流のマンション規制
基本計画		防災・景観 景観法による建築物認定への自治会参加
基本計画		防災・景観 住宅街への新規店舗の出店規制
基本計画		防災・景観 大規模マンションの建設規制
基本計画		交通 生活道路の整備
基本計画		交通 歩道整備
基本計画		交通 バスのフリー乗降
基本計画		交通 住宅地への通過交通規制
基本計画		交通 カーシェアリング・レンタサイクル

分類	意見の概要	
基本計画	行政	市民力の活用・市民と行政の協働 市民活動情報の集約、ネットワーク構築を支援
基本計画		市民力の活用・市民と行政の協働 市民提案制度の充実
基本計画		市民力の活用・市民と行政の協働 委託業務のなかで可能なものは市民の力を借りる
基本計画		事業計画の市民目線での評価 行政サービス満足度調査
基本計画		事業計画の市民目線での評価 中・高生による「芦屋ビジョン」チーム
基本計画		事業計画の市民目線での評価 市民主体の情報広報委員会
基本計画		健全財政 市民参加の財政健全化プロジェクト
基本計画		健全財政 財政力目標の設定
基本計画		健全財政 収入財源確保
基本計画		・基本計画の施策は従来の施策の継承であって新規施策がない。
基本計画	・市民の積極的な参加も必要であるが、行政への関心や理解がない市民が多いので、行政職員が市民の中に入っていきことも必要ではないか。	
基本計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集会所の貸し教室的な運用をやめてボランティア活動の拠点として市民活動を優先したり、集会所にインターネット回線を敷設すべきである。ネット活用市民が増えれば相互情報交換などが迅速かつ時間と費用の節減になり、また、生涯教育にも直結するので、市民のIT化とスキルアップを直ちに始めるべきである。</li> <li>・ITインフラ整備については、市民優先で考えるべきである。</li> </ul>	
基本計画	・まちづくりの目標2に「スポーツ」という言葉が出てこないのので、文章の表現に付け加えてはどうか。	
基本計画	・「保育所待機ゼロ達成」、「保育所通所中に発熱した場合、幼児を預かるシステムを確立する」ための財源確保のため、これ以外の項目の予算を大胆にカットする必要がある。	
基本計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・芦屋病院をもっと充実してほしい。</li> <li>・特に内科は院長が予約で埋まっており、一般市民が急に体調を崩して病院に行っても絶対に診てもらえない。その他は全くの新人と思われる若い医師なので、中堅の医師を雇ってほしい。</li> </ul>	
基本計画	・子どもがなく老後が不安である。民間の老人ホームは非常に高い。芦屋市がどんなに良い環境で公園のように美しいまちであっても生活の基盤に安定がないと心安らかに過ごすことができない。芦屋市の老人ホームが足りない。	
基本計画	・経験豊富なシニア世代のパワーを活用すべきである。	
基本計画	・六甲山麓調整区域の国立公園区域を拡大することも記載してほしい。	
基本計画	・阪急芦屋川駅下流の右岸、宮川流域の風致地区の新規指定や環境整備を記載してほしい。	
基本計画	・芦屋市都市景観条例に基づき、「戸建建築についても、生垣・植栽・草花などの配慮がなされている」ことを追加してほしい。	
基本計画	・「市民からの寄付緑地の保全に努め、由来・目的を明示する」ことを追加してほしい。	
基本計画	・まちづくりの目標11の【関連する計画等】に「芦屋市都市景観条例」を追加してほしい。	
基本計画	・具体的な取組11-2-1の「周知、啓発」に「誘導」も追加してほしい。	

分類	意見の概要
基本計画	・「芦屋浜に対する水質改善のため、神戸市・西宮市・兵庫県との協議会の設置」を追加してほしい。
基本計画	・市民会議の素案では、自動車優先交通体系からの転換の提言があったが、自動車優先システムの見直しがまったくない。
基本計画	・まちづくりの目標 13 で、「商店街の活性化」は従来から言われているがなかなか効果がないので実施計画での積極的な施策を期待する。
基本計画	・芦屋市の人口は微増であるので、JR芦屋駅南地区に今以上の商業施設は要らないのではないか。
基本計画	・市民にとって「行政への信頼感」というのは大事なことだが、「お互いが理解し合い、信頼関係を構築する」というのはおかしなことであり、適切でない。
基本計画	・まちづくりの目標 15 で、「健全な財政状況」としているが、平成 32 年度も収支不足にならない試算が必要ではないか。
基本計画	・行財政改革問題では、いわゆる「小泉改革路線」への批判があるにもかかわらず、従来の延長線になっており、それを転換するような政策提言はあまり取り入れられていない。
基本計画	・「本来、市として果たすべき仕事や役割を検証し、公共サービスの再構築に取り組みます」という場合、何が「本来、市として果たすべき仕事や役割」なのか「憲法の規定に立ち返って」ということを明記すべきである。
その他	・市議会議員への連絡、要望などを簡略化するため、議員に公的メールアドレスを付与すべきである。
その他	・オンブズマンシステムがないため、掲示板的なネットシステムの構築を考慮しているが、市政への市民からの提案やクレームの利便性向上に有効であることから、その節には市議会議員の協力が必要である。
その他	・総合計画を視覚的に楽しいものにするために基本構想図として 1/15,000 程度の縮尺の図面で、持ち歩いて計画が分かるものを添付してほしい。